

②地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会(心臓)

第27回 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	心臓リハビリテーション学会認定指導士更新のための資格 1.単位取得	日 時 : 2025年11月17日 (月) 19:00～ 20:30	18:30より世話人会があります	開 催 : 本会では現地開催のものとっております。	会 場 : P's SQUARE 5F (沖縄県浦添市西原2丁目4-1)	会 費 : 下記の会費を当日お願い致します。	○心臓リハビリテーション学会認定指導士更新のための単位必要者: 1000円	○心臓リハビリテーション学会認定指導士更新のための単位不要者: 500円	～プログラム～	<演題①> 19:00～19:15	「知ってください！ 沖縄♡心不全療養指導士ネットワークの県内活動」	医療法人博愛会 牧港中央病院 外来看護師・主任 /心不全療養指導士 玉城 由美子 先生	<演題②> 19:15～19:30	「バスを用いた心不全カンファの取り組みとその効果」	那覇市立病院 慢性心不全看護認定看護師 與那原 久輝 先生	<特別講演> 19:30～20:30	「日本における早期再灌流療法時代の急性心筋梗塞に 対する入院・外来心臓リハビリテーション 予後改善効果の検討-JROAD-CR研究-」	福岡大学病院 循環器内科 講師 末松 保憲 先生	事務局 琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学 心臓病・心臓血管リハビリテーション研究センター 心臓病研究交流センター 心臓病・心臓血管リハビリテーション研究センター 第一市民会社会 おきなび協賛中心・心臓病研究社会変革センター	共 催 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	共 催 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	共 催 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	共 催 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	共 催 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	共 催 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	共 催 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	共 催 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	共 催 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	共 催 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会
--	--	--	--------------------------------	---	---	-------------------------------	--	---	----------------	--------------------------------	---	--	--------------------------------	---	--------------------------------------	---------------------------------	---	---------------------------------	---	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

ゆいまーるで繋ぐ沖繩の循環器診療

令和8年

1/16 (金)

18:30~20:00

開催形式 現地リアル開催およびZOOMによるWEB配信

現地会場：アトホテル石垣島

2階 西表の間

講演1 18:30~19:15

後 飯

小畑 慎也 先生 石垣島聖雲学院院 院長

沖繩県の不整脈診療の未来

不整脈センター/不整脈・心不全先進医療講座の意義と役割

佐々木 毅 先生 琉球大学 循環器センター 特命准教授

講演2 19:15~20:00

後 飯

田守 唯一 先生 県立八重山病院 循環器内科 部長

沖繩県の高血圧診療の未来

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センターの意義と役割

桶瀬 賢也 先生 琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座 教授

単位取得に申しまして、詳細は裏面をご確認お願い致します。

●日病薬病院長学認定薬剤師単位 取得予定 領域未定 0.5単位

参加費 無料

参加費の取扱い 無料

申込受付は本会事務局からZOOM利用、会議室をとり置き。会場ご参加の先生方にはお当座に御座りましては、ZOOM参加、WEB配信に限りずにお申し込みは下記Eメールより事務局までご連絡、頂きます。

お問い合わせ：第一三共株式会社 高橋 淳子 yohel.takahashi@daichisanryo.com

共催：沖縄県医師会、沖縄県薬剤師会、ディープイノベーション共創会、第一三共株式会社

後援：おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター

患者や家族向けのパンフレット・作製・配布、ホームページの作成

③患者や家族向けのパンフレット・作製・配布、ホームページの作成



会
師
医
県
縄
沖

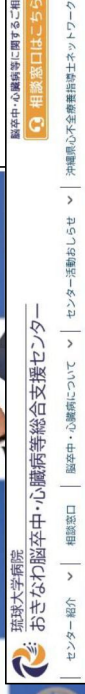


沖繩県医師会

日本循環器協会ホームページより



日本脳卒中協会より



地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動

④地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動（脳卒中）

10/29 世界脳卒中デイトライトアップ



琉球新報社本社ビルをライトアップ



公益社団法人日本脳卒中協会
大塚町明神宮西1-3-15 大塚ビル4階
Tel.03-6225-7370 Email:mco@jss-wbo.org



公益社団法人日本脳卒中協会
大塚町明神宮西1-3-15 大塚ビル4階
Tel.03-6225-7370 Email:mco@jss-wbo.org

琉球新報社中部支社
中部広告グループ 御中

J S A 発 2 0 2 5 誌 第 4 7 号
2025 年 8 月 25 日

公益社団法人日本脳卒中協会
理事長 峰松 一宏
公益社団法人日本脳卒中協会
沖縄県支部長 大屋 裕世

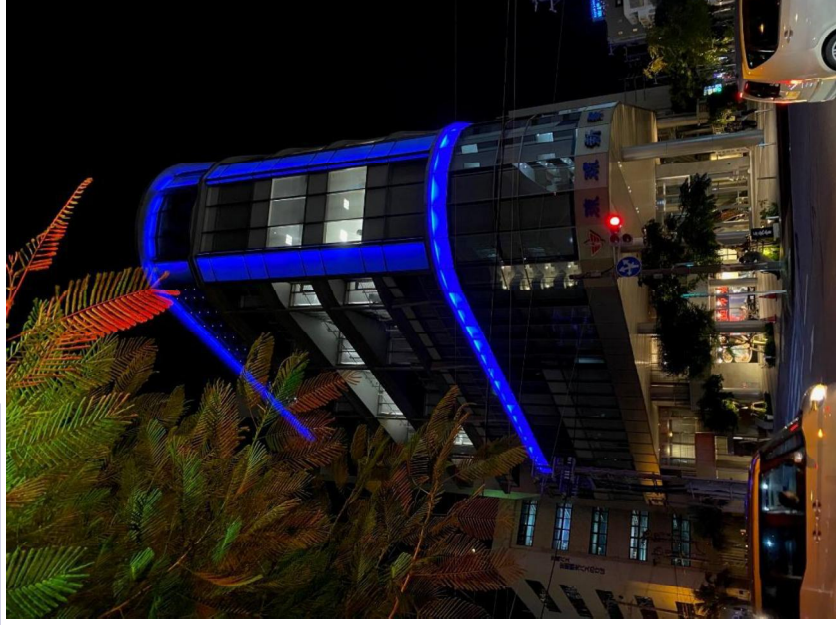
琉球新報社本社ビル
世界脳卒中デー・ライトアップのお願い

諸君 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本脳卒中協会は、脳卒中の予防と患者・家族の支援を目的として1997年に設立され、2005年3月に社団法人として、2012年10月に公益社団法人に認可された団体で、(1) 脳卒中の予防ならびに発症時の対応に関する知識の普及と啓蒙、(2) 脳卒中患者の自立と社会参加を支援する事業、(3) パンフレット・広報誌等の監修・制作、(4) 脳卒中に関する調査研究、などを行っています。

その活動の一環として、日本脳卒中協会が加盟している世界脳卒中機構 (World Stroke Organization, WSO) の「世界脳卒中デー (World Stroke Day) : 10月29日」に合わせてキャンペーンを実施しております。

脳卒中は、予防が可能です。発症後1分でも早く専門的治療を開始することによって後遺症を軽減することができます。世界脳卒中デーでは、世界中で脳卒中の啓蒙をテーマにしたキャンペーンが展開されます。



地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動

④地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動（脳卒中）

10/29 世界脳卒中デー



脳卒中協会県支部と協力し協賛広告

地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動

④地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動（脳卒中）



8/22 ぎのわんシティFM収録（脳卒中のお話）など

各論（沖縄県の脳卒中に関して）

- 脳梗塞：
アテローム血栓性脳梗塞が多い
- 脳出血：
 - ・脳卒中に占める割合が約3割と依然として高い（全国は2割程度）
 - ・男性は70代がピークだが40代、50代の働き盛りの現役世代にも多い（脳出血症例の内40代+50代は約30%。これに60代まで加えると5割を超える）
 - ・脳出血患者の半数以上に重症な後遺症を認める（以下、平成28年人口動態調査）
 - ・65歳未満の死亡原因は高血圧関連疾患が最も多く、その中でも脳出血が最多で男性が多い
 - ・全国と比較して脳血管疾患の死亡原因に占める脳出血の割合が高い（全国34%、沖縄44%）

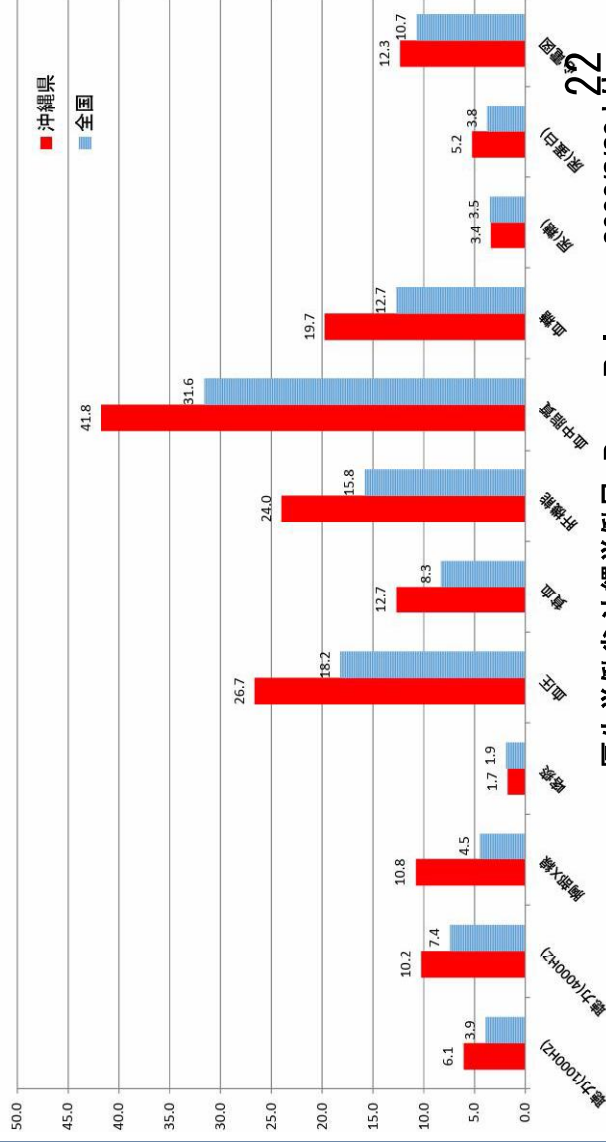
●背景因子より

沖縄労働局の発表では職場における定期健康診断（働き盛りの健康診断）において、沖縄県は2022年まで何らかの異常所見を認めた有見率は12年連続でワースト1位、2023年にはワースト2位となり13年ぶりに最下位脱出とはなっているが...

ここ最近の有見率は約7割（検診を受けた人の7割が引っかかっている状況）で推移してお

脂質（約40%）>血圧（約27%）>肝臓（約24% 脂肪肝やアルコール）>血糖（約20%）

資料③ 職場における定期健康診断有見率（令和4年 健診項目別）



地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動

④地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動（脳卒中）

1/25 第2回市民公開講座 脳卒中のお話

沖縄県立博物館・美術館 講堂



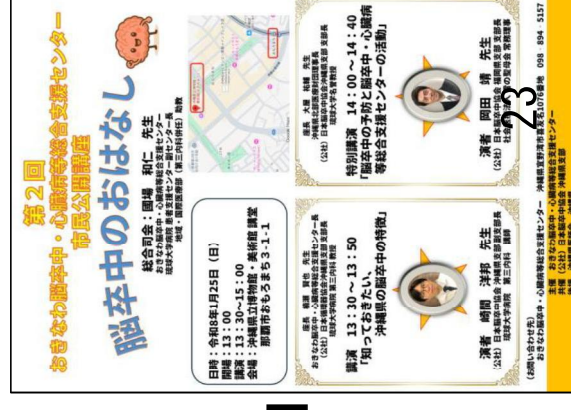
<https://okimu.jp/guide/f-rental/> より

演者：崎間 洋邦 先生 「知っておきたい、沖縄県の脳卒中の特徴」

特別講演

岡田 靖 先生「脳卒中の予防と脳卒中・心臓病等総合支援センターの活動」

前九州医療センター副院長 聖マリア病院常任理事
脳卒中協会福岡支部長 福岡県循環器病対策推進協議会委員 他
日本脳卒中学会（名誉会員、脳卒中専門医・指導医） 日本内科学会総合内科専門医
日本老年学会（代議員、老年病専門医・指導医） 日本脳ドック学会（理事、脳ドック認定医） 他



地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動

④地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動（心臓病）

8/3 心臓ハートの日(8/10)関連市民公開講座＆健康無料相談会（心不全療養指導士ネットワークと共同主催）



地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動

④地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動（心臓病）

地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動

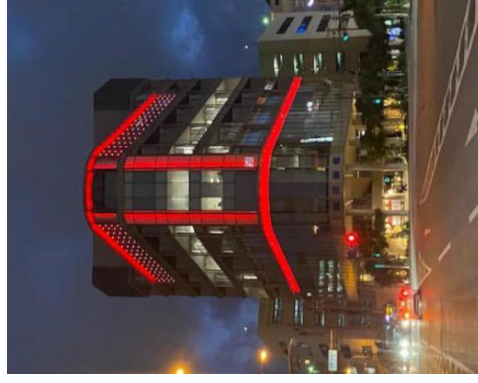
④地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動（心臓病）

8/10 ライトアップ

今年も、全国の名所・協力施設がハート色にライトアップされます。

"ハートの色"とは**赤**です。

赤のライトアップを見たら、自分のハート **-心臓-** のことも気にかけてみてください。



琉球新報社本社ビル

<https://www.kenko810.com/> より

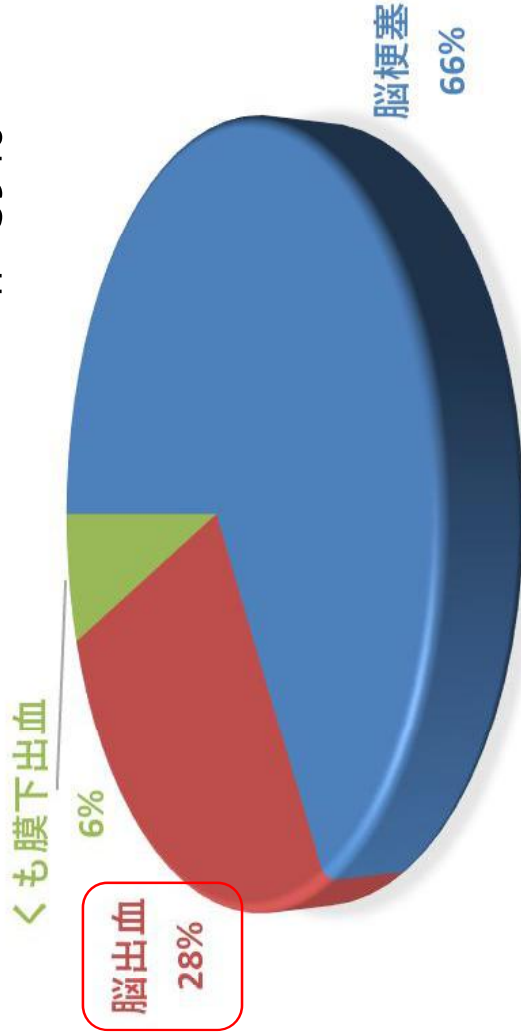
地域住民を対象とした情報提供、予防啓発活動（今後の予定 高血圧）

脳卒中の内訳 沖縄県と全国データ比較

令和4年度 沖縄県DPCデータ（急性期病院のデータ）

DPCデータは沖縄県医師会のおきなわ脳卒中地域連携委員会で毎年分析。急性期病院側の貴重なビッグデータ。

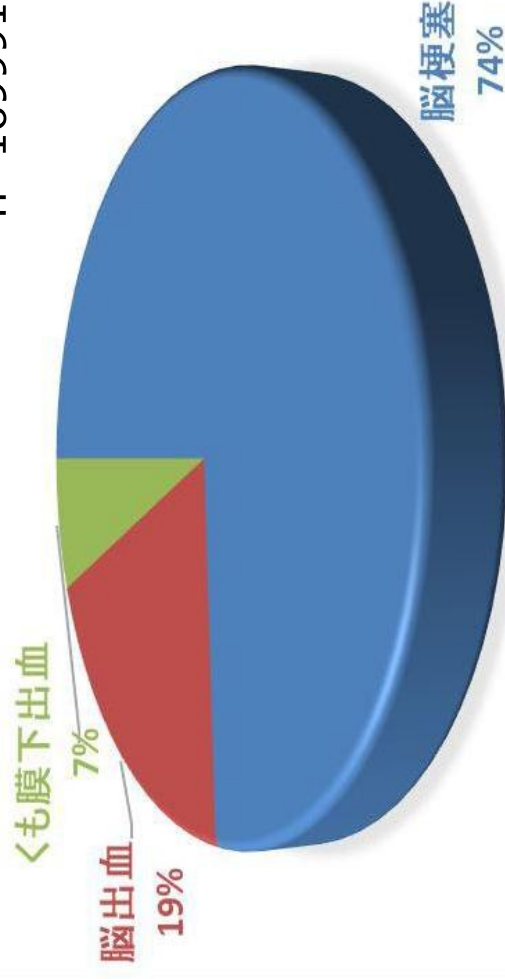
n = 3940



沖縄県

参考：全国データ
脳卒中データベース2021より作成図

n = 169991



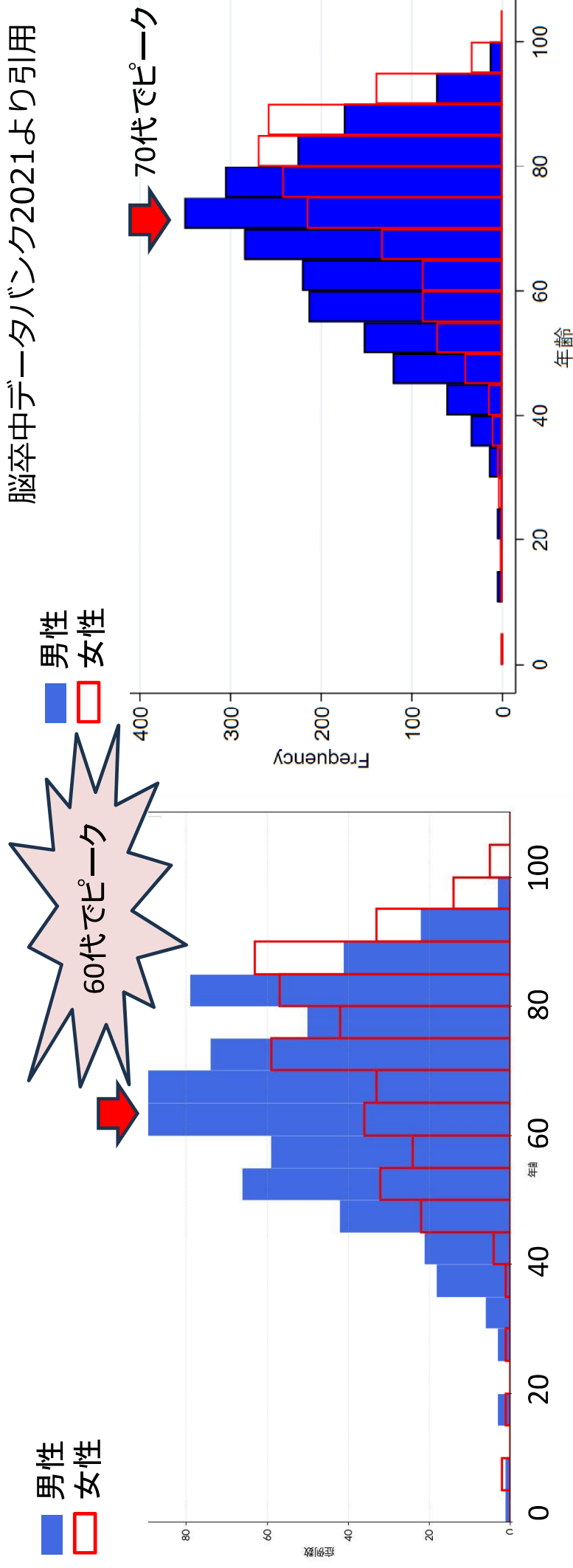
全国

脳梗塞が最も多いのは全国と変わらないが、沖縄県では脳出血の割合が多い。

脳出血の発症年齢の分布 沖縄県と全国データ比較

令和4年度 沖縄県DPCデータ

参考：全国データ
脳卒中データバンク2021より引用



沖縄県の男性の脳出血は、働き盛り世代の50代から増え、60代でピーク。
全国データでは70代でピーク。

琉球大学病院：崎間洋邦 先生提供

沖縄県の65歳未満の死亡原因

■ 65歳未満（30-64歳）の死亡原因

順位	死亡原因	死亡数	男性	女性
1位	高血圧関連疾患	284人	217人	67人
2位	自殺	179人	136人	43人
3位	大腸がん	131人	93人	38人
4位	女性特有のがん	105人		乳がん：54人 子宮がん：51人
5位	不慮の事故	91人	72人	19人
6位	アルコール性肝疾患	90人	74人	16人
6位	肺がん	90人	64人	26人
	糖尿病	36人	26人	10人



分類コード	分類名	人数	男性	女性
09101	高血圧性心疾患	1人	1人	0人
09102	高血圧性その他	6人	5人	1人
09202	急性心筋梗塞	51人	42人	9人
09203	その他の虚血性心疾患	76人	60人	16人
09301	くも膜下出血	40人	20人	20人
09302	脳内出血	83人	66人	17人
09303	脳梗塞	11人	9人	2人
09400	大動脈瘤及び解離	16人	14人	2人
	合計	284人	217人	67人

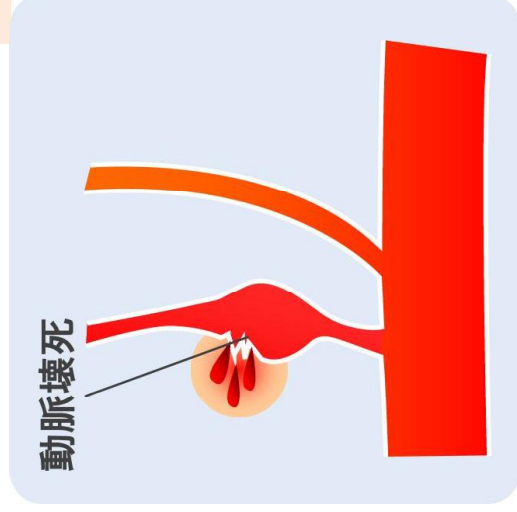
65歳未満の死亡原因で高血圧関連疾患が最も多く、
その中でも脳内出血が最も多い。

また、男性が圧倒的に多い。

沖縄県の脳卒中の特徴

- 全国に比べて脳出血が多い
- 脳出血の中でも50、60代の働き盛り世代の男性に多い

脳出血



• 高血圧

• 過度の飲酒

他の原因

• 脳動静脈奇形

• もやもや病

など



高血圧対策が最も重要

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センターの取り組み

目標血圧:130/80mmHg未満

沖縄県全体の血圧管理目標値の設定と意識向上

【背景】

沖縄県における65歳未満(30～64歳)の死亡原因の第1位は、男女ともに高血圧関連疾患であり、各年齢階級別の死亡率では虚血性心疾患、脳内出血において全国の都道府県別順位においてワーストとなっている階級がある。

【目標】

おきなわ脳卒中・心臓病総合支援センター、沖縄県医師会、沖縄県、協会けんぽ他、関係諸機関と県内で目指すべき血圧目標値を設定し、血圧管理および早期受診啓発を行うことにより、県民の健康寿命の延伸に寄与する。

【手段】

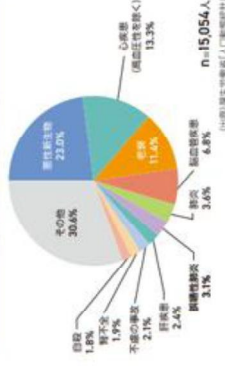
ポスターの作成/配布、県やセンター事業のホームページへの掲載、市民公開講座等での啓発活動

県民の健康状態の現状

死因の上位は生活習慣病！

令和4年の沖縄県の死因に数は15,054人で死因別では、悪性新生物(がん)や心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病が占めています。

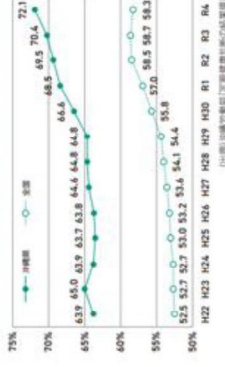
沖縄県死因別構成割合(R4)



働き盛りの健康状態が悪い！

職場における定期健康診断の有病率は、年々増加しており、全国を大きく上回っています。平成23年から12年連続で全国最下位です。

職場における定期健康診断有病率の推移



20～64歳の年齢階級別死亡件数 (虚構ファースト3位以内)			
男 性		順位	年齢階級
心疾患	45～49歳	1位	1位
	40～44歳	2位	2位
	30～34歳	3位	3位
脳血管疾患	45～49歳	1位	1位
	40～44歳	2位	2位
	30～34歳	3位	3位
肝疾患	55～59歳	1位	1位
	30～34歳	3位	3位
糖尿病	60～64歳	1位	1位
	30～34歳	3位	3位

20～64歳の年齢階級別死亡件数 (虚構ファースト3位以内)			
女 性		順位	年齢階級
心疾患	60～64歳	1位	1位
	45～49歳	3位	3位
	30～34歳	3位	3位
脳血管疾患	40～44歳	1位	1位
	60～64歳	3位	3位
	40～44歳	3位	3位
糖尿病	40～44歳	1位	1位
	55～59歳	1位	1位

(出所:厚生労働省「人口動態統計」)

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センター

2025/9/4センター開所式



本日2026/2/12 開所後約5ヶ月

おきなわ脳卒中・心臓病等総合支援センターは

沖縄県における脳卒中、心臓病の予防啓発、患者支援の為、県、医師会、各医療機関や施設、患者などをつなげるハブとして努めてまいります。

脳卒中・心臓病の共通の因子である「高血圧」の管理目標を「**血圧130/80mmHg**」とし、沖縄県全体の意識向上の為、予防啓発に邁進いたします。

皆様のご理解、ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。